

## 現在は閑静な住宅地

小平3・3・8号府中所沢線ができると、200世帯以上が立ち退きとなります。大きな2つの道路にはさまれた住宅地は道路の中州のようになり、騒音や大気汚染の悪化が大変心配です。

## 用途地域が変わる？

32-36m幅の道路の両側30mは、用途地域が変更になる可能性があります。戸建中心だった地域が商業施設やマンションが建てられる地域になると、道路を中心に約100mの幅で町並みが一変します。

## 雑木林が消える？

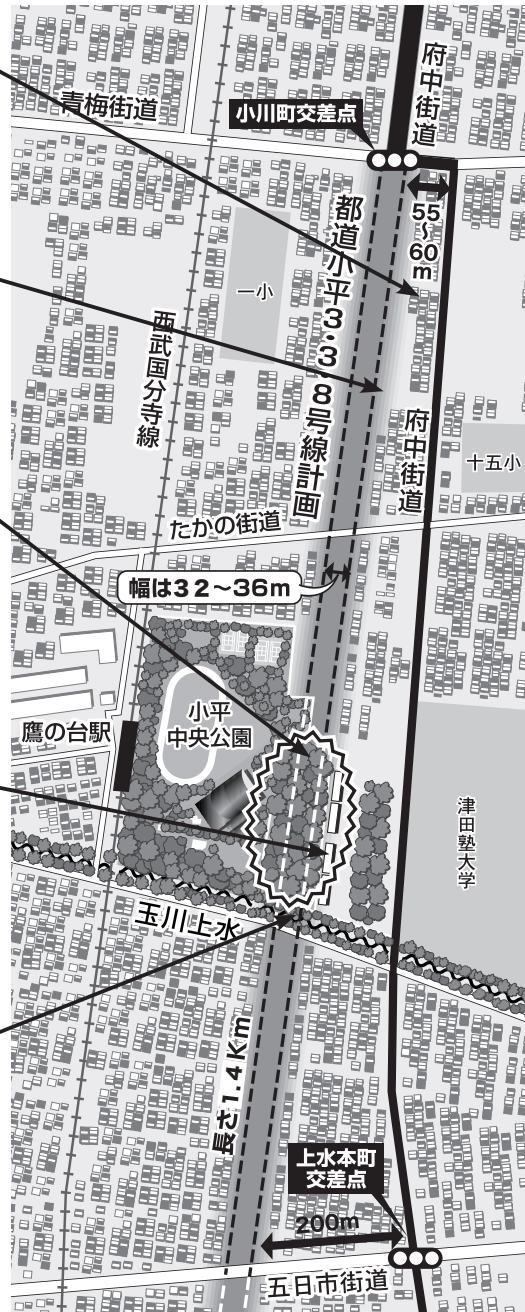
ゲートゴルフ、太極拳、散歩など、地域住民が日常的にくつろぎ、大切な場所と感じている林です。幼稚園や保育園のお散歩、ツリークライミング、野外遊び場、虫とりや自然観察にも絶好の場所です。武蔵野美術大学の野外アート展、夏の連続プレーパークはどちらも盛況で、毎年恒例となっています。この林の大部分が道路になる計画です。

## 目の前に道路ができると…

約60世帯が住む都営住宅の目の前に道路ができる計画です。「今は毎日子どもが公園で好きなだけ遊んでいるが、道路ができたら子どもだけでは外に出せない環境になる」との声も。大きな道路に学区は分断され、ゆっくりしか歩けない小さな子どもやお年寄りも、歩道橋や横断歩道を渡るのが大変になりそうです。

## 玉川上水はどうなるの？

小平3・3・8号線は、国の史跡玉川上水と交差する計画です。東京都と小平市の行政連絡会では、玉川上水と交差する部分に関して、「平面」「地下」「高架」の3案を検討しましたが、都の都市計画変更素案では、平面での交差としています。多くの散策者が訪れる今のままの美しい遊歩道を残すことはおぼつかしそうです。



map by Hiroko Kagimoto